令和6年度

危険物取扱者試験案内

一般財団法人　消防試験研究センター和歌山県支部
郵便番号　640-8137
住　　所　和歌山市吹上二丁目1-22　日赤会館6階
電　　話　073-425-3369
ＦＡＸ　073-425-1996
https://www.shoubo-shiken.or.jp/

消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により、和歌山県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

お知らせとお願い

◎インターネットによる受験申込み(電子申請)ができます。
（詳しい手続きは当センターホームページ、または本冊子 4 ページをご覧下さい。）

◎写真は、受験票に貼り付けして試験当日必ず持参して下さい。
（写真を貼った受験票の持参がないと受験できません。詳しくは 5 ページをご覧下さい。）

◎受験願書は直接電算機処理を行いますので、汚したり折り曲げたりしないよう取り扱いに注意して下さい。

◎合格後の免状交付申請手続きも記載しています。(7 ページ)この試験案内は大切に保管して下さい。

◎願書の提出後は、内容の変更、受験の取り止めはできません。

◎この「試験案内」を最後までよく読んで、記載されている内容に同意したうえでお申し込み下さい。申し込まれた方は、試験案内に記載された全ての事項に同意されたものとみなします。

― 案 内 書 目 次 ―

１．令和６年度危険物取扱者試験実施日程 …… 1
２．危険物の種類、免状の種類及び取扱ができる危険物 …… 2
３．試験種類、試験科目、問題数及び試験時間 …… 2
４．甲種危険物取扱者試験 …… 3
５．乙種危険物取扱者試験 …… 3
６．丙種危険物取扱者試験 …… 3
７．受験申請方法及び必要書類等 …… 4
８．試験手数料及び払込方法 …… 5
９．受験票及び写真について …… 5
10．複数種類の受験（併願受験と複数受験）…… 6
11．試験の方法 …… 6
12．合格基準 …… 6
13．試験結果の通知（合格発表）…… 6
14．その他の注意事項 …… 6
15．免状交付申請の手続き …… 7
（参考）和歌山県証紙主な売りさばき場所一覧 …… 8

別記１　甲種危険物取扱者試験の受験資格…… 9
　別表１　化学に関する学科等の例 ……10
　別表２　化学の授業科目例 …… 10～12
　書式例１　専修学校用受験資格証明書 ……12
　書式例２　単位修得証明書 ……12

別記２　受験願書の記入例…… 13～15

試験会場案内
　和歌山市会場・橋本市会場への案内……16
　田辺市会場・新宮市会場への案内……17

個人情報の取り扱いについて……18
試験に関するお問い合わせ先……18

１．令和６年度危険物取扱者試験実施日程

回数	試験日	試験会場	書面願書・電子申請受付期間	合格発表予定日	試験種類と開始時刻
第1回	6月9日（日）	和歌山市 橋本市 田辺市	4月 15日（月） から 4月 22日（月） （消印有効）	6月28日頃	乙種４類　9時30分 （午前中のみ） 甲種　13時00分 乙種1.2.3.5.6 13時00分 丙種　13時00分
第2回	7月21日（日）	和歌山市 新宮市	5月 27日（月） から 6月 3日（月） （消印有効）	8月9日頃	
第3回	10月13日（日）	和歌山市	8月 26日（月） から 9月 2日（月） （消印有効）	11月8日頃	
第4回	10月20日（日）	和歌山市 橋本市 田辺市			
第5回	2月 9日（日）	和歌山市	12月 16日（月） から 12月 23日（月） （消印有効）	3月7日頃	
第6回	2月16日（日）	和歌山市 田辺市 新宮市			

※　試験場の各会場案内は、16～17ページに記載していますのでご確認ください。

※　受験願書の受験地欄には、「和歌山市」「橋本市」「田辺市」「新宮市」のいずれかの市名を記入してください。

※　上記各市の試験会場については、収容人員等の関係で変更することもありますので受験票において指示します。受験票に記載された試験会場以外での受験はできません。

〈受験申請方法〉

書面申請（願書による受験申請）と電子申請（インターネットからの受験申請）の2通りがあります。具体的な受験手続きは、「７　受験申請方法及び必要書類等」をご覧ください。

ア　電子申請

・電子申請は、書面申請と受付期間が異なりますので注意してください。

・電子申請は、インターネットにより受付期間初日の午前９時から最終日の終日までの間は、24時間受け付けできます。

※受付最終日の23時59分に申請手続きが完了している受験申請が有効となります。

イ　書面申請

・持参（受付時間は土日祝を除く受付期間中の午前９時から午後５時まで）

・又は郵送（簡易書留により受付最終日の消印まで有効）

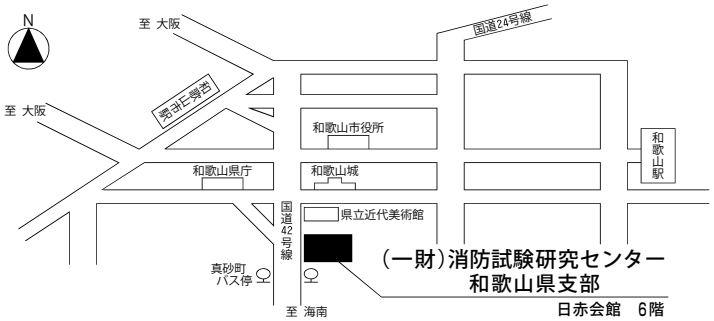
・受付場所（郵送先）

〒640-8137 和歌山市吹上二丁目1-22　日赤会館６階

一般財団法人　消防試験研究センター和歌山県支部　☎ 073-425-3369

・受付期間外に提出された受験願書及び記載事項等に不備のある受験願書は受理できません。この場合、提出された受験申請書類を返却いたします。返却費用は本人負担となります。

・受付場所までの略図



2．危険物の種類、免状の種類及び取扱ができる危険物

試験区分		性質	取扱いができる危険物
甲種			全種類の危険物
乙種	第１類	酸化性固体	塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜塩素酸塩類、臭素酸塩類、硝酸塩類、よう素酸塩類、過マンガン酸塩類、重クロム酸塩類、これらを含有するもの
	第２類	可燃性固体	硫化リン、赤リン、硫黄・鉄粉、金属粉、マグネシウム、これらを含有するもの、引火性固体
	第３類	自然発火性物質及び禁水性物質	カリウム、ナトリウム、アルキルアルミニウム、黄リン、アルカリ金属（カリウム及びナトリウムを除く。）及びアルカリ土類金属、有機金属化合物（アルキルアルミニウム及びアルキルリチウムを除く。）、金属の水素化物、金属のりん化物、カルシウム又はアルミニウムの炭化物、これらを含有するもの
	第４類	引火性液体	特殊引火物、第一石油類、アルコール類、第二石油類、第三石油類、第四石油類、動植物油類
	第５類	自己反応性物質	有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物、ニトロソ化合物、アゾ化合物、ジアゾ化合物、ヒドラジン誘導体、これらを含有するもの
	第６類	酸化性液体	過塩素酸、過酸化水素、硝酸、これらを含有するもの
丙種		危規則第49条に定めるもの	第４類の危険物のうち、ガソリン、灯油、軽油、第三石油類（重油、潤滑油及び引火点130度以上のものに限る。）、第四石油類及び動植物油類（取扱いはできるが、取扱作業の立会いはできない。）

3．試験種類、試験科目、問題数及び試験時間

試験種類	試験科目	問題数	合計	試験時間
甲種危険物取扱者試験	①危険物に関する法令（法令）	15問	45問	2時間30分
	②物理学及び化学（物化）	10問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	20問		
乙種危険物取扱者試験	①危険物に関する法令（法令）	15問	35問	2時間
	②基礎的な物理学及び基礎的な化学（物化）	10問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		
丙種危険物取扱者試験	①危険物に関する法令（法令）	10問	25問	1時間15分
	②燃焼及び消火に関する基礎知識（燃消）	5問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		

※試験科目の（　）は略称です。

4．甲種危険物取扱者試験

甲種危険物取扱者試験の受験資格は、別記１「甲種危険物取扱者試験の受験資格」（９～12ページ）のとおりです。

5．乙種危険物取扱者試験

(1)　受験資格は、必要ありません。

(2)　試験科目の免除

既に乙種危険物取扱者免状を有する方は「法令・物化」の全部を免除し、又、第１類若しくは第５類の受験者で火薬類免状を有する方は、申請により「物化」の一部、「性消」の一部を免除します。

乙種危険物取扱者試験における試験科目の免除については、下表のとおりです。

免除資格者	免除類別	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
乙種危険物取扱者免状を有する方	全類	①　法令	全部免除	0問	10問	35分
		②　物化	全部免除	0問		
		③　性消		10問		
火薬類免状を有する科目免除申請者	第1類 第5類	①　法令		15問	24問	1時間30分
		②　物化	一部免除	4問		
		③　性消	一部免除	5問		
乙種危険物取扱者免状を有し、かつ火薬類免状を有する科目免除申請者	第1類 第5類	①　法令	全部免除	0問	5問	35分
		②　物化	全部免除	0問		
		③　性消	一部免除	5問		

〔備考〕　火薬類免状は、次の免状を意味します。

◇　甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状（火薬類取締法）

◇　甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状（火薬類取締法）

6．丙種危険物取扱者試験

(1)　受験資格は、必要ありません。

(2)　試験科目の免除

丙種危険物取扱者試験における試験科目の免除については、下表のとおりです。

免除資格者	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	危険物に関する法令		10問	20問	1時間00分
	燃焼及び消火に関する基礎知識	全部免除	0問		
	危険物の性質並びにその火災予防及消火の方法		10問		

7．受験申請方法及び必要書類等

受験申請方法は書面申請と電子申請の２通りがあります。

⑴　**書面申請**

受験する種類（乙種危険物取扱者試験の受験者は、類）ごとに、次の書類が必要です。

ア　受験願書（別記２の「受験願書の記入例」13ページを参照してください。）

イ　甲種危険物取扱者試験の受験者は、受験資格９ページ別記１表中の「証明書類」欄に記載している書類を提出してください。

※　卒業証書、免状等は、コピー（縮小したものも可）して貼り付けてください。

※　過去にいずれかの支部で甲種の試験を受験したときの受験票（控）又は試験結果通知書（資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る。）を提出することにより、甲種の受験資格の証明に代えることができます。（コピー可）

ウ　乙種危険物取扱者試験において、試験科目の免除を受ける受験者は、「乙種危険物取扱者免状」（両面コピー）、「火薬類免状」の写し（コピー）を提出してください。

エ　丙種危険物取扱者試験において､試験科目の免除を受ける受験者は､「５年以上消防団員として勤務したことを証明する書類」(消防団長等が証明するもの)及び「消防学校の基礎教育又は専科教育の警防科を修了したことを証明する書類」(消防学校長が証明するもの)を提出してください。

オ　試験手数料の「振替払込受付証明書（お客さま用）」

カ　既に「危険物取扱者免状」を取得している方は、既得免状の写し（両面をコピーしてください）

⑵　**電子申請**

※　電子申請では、同一試験日に１種類のみの受験申込みとなりますので、複数種類の受験を希望する場合は、書面による申請を行ってください。

ア　電子申請ができる試験種別は、下記のとおりです。

ただし、危険物取扱者免状以外の**各種証明書類等の提出が必要な方は**、書面申請をお願いします。

㈠　甲種〔４種類以上の乙種免状（第１類又は第６類、第２類又は第４類、第３類、第５類）の交付を受けている方に限る。９ページ別記１「甲種危険物取扱者の受験資格」参照〕

㈡　乙種全類

㈢　丙種

イ　再受験における電子申請について

書面申請により受験した試験、又は電子申請により受験した試験を再受験する場合には、過去３年以内に受験した試験種類（合格した試験種類を除く。受験地は問いません。）に限り、電子申請することができます。

再受験の申請は、**同一試験日に１種類のみで、証明書類等の添付は必要ありません。**

ただし、**次の項目に該当する再受験については、電子申請はできません。**

㈠　過去３年以内に受験したときの受験票（控）、又は試験結果通知書を持っていない方

㈡　同一試験日に併願受験、又は複数受験をする方

ウ　注意事項

スマートフォンからも電子申請はできますが、願書情報の入力において、携帯電話会社の提供するメールアドレスやフリーメールアドレスを登録された場合は、携帯電話会社やフリーメール運営会社が行っている迷惑メール対策等により、当センターから送るメールが受信できないことがあります。

電子申請に関するお問い合わせ先

一般財団法人消防試験研究センター　電子申請室
専用電話（全国共通）０５７０－０７－１０００（有料）
受付時間　９時 00 分～ 17 時 00 分（土日祝日、年末年始を除く。）
一般財団法人消防試験研究センターホームページ　https://www.shoubo-shiken.or.jp/

8．試験手数料及び払込方法

⑴　試験手数料

試験手数料額については別紙１又は当センター HP をご覧ください。

※　令和６年５月１日に手数料の改定が見込まれます。別紙１又は当センター HP を確認の上、誤りのないよう払い込みをお願いします。

一般財団法人消防試験研究センターホームページ　https://www.shoubo-shiken.or.jp/

⑵　書面申請の場合

ア　受験願書とともに配布される当センター指定の郵便局払込用紙により、必ず１種類ごとに前⑴の試験手数料をゆうちょ銀行または郵便局の窓口で直接払込んでください。機械払込みをされた場合でも窓口で「振替払込受付証明書」に日附印を受けてください。なお、払込みには、所定の払込料金が必要です。

イ　次に「振替払込受付証明書（お客さま用）（郵便局の受付日附印のあるもの）」を受験願書Ｂ面の試験手数料欄にのり付けしてください。（本人用の「受領証」では受付できませんので、注意してください。）

「振替払込受付証明書（お客さま用）」を紛失、汚損等により受験願書に貼付できない場合、当センターでは責任を負えませんので、くれぐれも紛失、汚損等しないようにしてください。

紛失、汚損等した場合は、再度払込みの上、新たな「振替払込受付証明書（お客さま用）」を受験願書に貼り付けてください。

なお、再度払い込みをした後で、紛失した「振替払込受付証明書（お客さま用）」を発見したときは、還付申請により先に払い込まれた試験手数料をお返しします。

⑶　電子申請の場合

払込方法は、次の決済方法から選択できます。試験手数料の払込みには、所定の払込手数料が必要になります。

ア　ペイジー（Pay-easy）決済　※情報リンク方式、オンライン方式

イ　コンビニエンスストア決済（セブン - イレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート）

ウ　クレジットカード決済（VISA、Master Card、JCB、アメリカンエキスプレス、ダイナース）

※　一般財団法人消防試験研究センターでは、電子申請に係る試験手数料の収納に関して、全て SMBC ファイナンスサービス株式会社に業務委託しております。

⑷　一旦払込みされた試験手数料は、お返しできません。

9．受験票及び写真について

⑴　受験票の送付方法

書面申請の場合、受験票は、試験日のおおむね２週間前までに郵送いたします。電子申請の場合、試験日のおおむね１週間前までに受験票がダウンロードできる旨のメールを登録アドレスに送信します。未着の場合はお問い合わせください。

受験票を持参しないと受験できません。

⑵　写真について（書面申請、電子申請共通）

受験日前６ヶ月以内に撮影した正面、無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。）、無背景の上三分身像で縦 4.5㎝、横 3.5㎝又はパスポート規格の大きさ、枠無しとし、鮮明なもの（裏面に撮影年月日、氏名及び年齢を記入してください。）を１枚準備して、受験票に貼ってください。デジタルカメラで撮影されたものは、写真専用紙で印刷した鮮明なものとしてください。

写真は受験者本人の確認及び危険物取扱者免状の作成に使用しますので、試験当日は、写真を貼った受験票を必ず持参してください。

写真を貼付していない又は貼付写真が不鮮明な場合は受験できません。

⑶　受験票の氏名欄は受験者の氏名をかい書で記入してください。

住所、氏名、フリガナなどが間違っている場合は、試験当日に試験室で試験監督員がお渡しする修正用紙に正しい内容を記入して訂正してください。

⑷　受験票に貼った写真が本人であることを確認するため、試験会場で本人確認の証明を求めることがありますので、試験当日は顔写真のついた身分を証明できるもの（例えば運転免許証、学生証、消防設備士免状、危険物取扱者免状、その他の国家資格証など）をお持ちください。

10. 複数種類の受験（書面申請に限ります）

※　電子申請では、同一試験日に１種類のみの受験申込みとなりますので、複数種類の受験を希望する場合は、書面による申請を行ってください。

⑴　**併願受験**（異なる試験時間帯（午前と午後）での受験）
乙種第４類と、それ以外の種類のうちの１種類を受験することができます。
この場合、受験願書は試験の種類ごとに提出してください。

⑵　**複数受験**（同一試験時間帯（午後）での受験）
既に乙種免状を持っている方に限り、乙種第４類以外の乙種の試験を３種類まで受験できます。例えば（３種類まで可の場合）乙種第４類の免状所持者は、乙種第１類、第３類と第５類を同時に受けることができます。この場合、受験願書はそれぞれの種類ごとに作成し提出してください。この場合の試験時間は、35分×３＝１時間45分となります。

11. 試験の方法

甲種及び乙種の試験については五肢択一式、丙種の試験については四肢択一式の筆記試験です。

12. 合格基準

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者試験ともに、試験科目ごとの成績が、それぞれ60パーセント以上であること。(試験科目の免除を受けた受験者については、その科目を除く。試験科目の一部が免除された方については、免除された以外の問題での成績であること。)

13. 試験結果の通知（合格発表）

⑴　合格発表予定日は、１ページの１の表に記載のとおりです。

⑵　合格された方については、公示日の正午に当センターのホームページ上に掲示するとともに、和歌山県支部の入口にも合格者受験番号を公示します。また、受験された方全員に結果通知書を郵送します。
　なお、電話による合否に関する問い合わせ、採点結果や試験問題及びその解答に関する問い合わせには一切応じられません。

※合格されたら、７ページの免状交付申請手続きをしてください。

14. その他の注意事項

①　試験会場には、できる限り公共乗物を利用してください。又、試験会場は禁煙です。

②　試験開始30分前に集合し、受験に当たっての注意事項の説明を受けてください。

③　試験当日は写真を貼った受験票、HB又はＢの鉛筆数本と消しゴムを必ず持参してください。万年筆、ボールペン等は使用できません。

④　試験会場では、テンプレート等の定規類、電卓、携帯電話（スマートフォンを含む。）等は一切使用できません。

⑤　参考書、法令集等の参照は一切できません。

⑥　携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器類は必ず電源を切り、カバン等にしまってください。(これらの電子機器類を時計として使用することはできません。)

⑦　試験問題集及び解答カードは持ち帰ることはできません。また、問題集の一部を切り取ったりカメラ等で撮影することもできません。このような行為は、失格となりますので注意してください。

⑧　カンニング等により不正行為とみなされた場合、受験は直ちに中止、退室となり、試験は失格となります。

⑨　当センターに、一旦提出し受理された受験申請書類は一切お返しできません。

⑩　受験願書提出後に住所等変更した時は、必ず新住所、及び電話番号を連絡してください。

⑪　事故等により、会場や日程を変更する場合には、和歌山県支部からの緊急情報として当センターのホームページに掲示します。特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報に対処して試験日時を変更する場合の緊急情報は、試験開始時間の２時間前までに掲示します。

⑫　試験当日の特例処置（車椅子の使用等）を希望される場合は、事前にご連絡ください。

15. 免状交付申請の手続き　～試験に合格してからの手続きです～

試験に合格された方は、速やかに次の手続きをしてください。

(1) **申請の方法**

試験に合格された方は、下記の必要書類（①から④）を揃えて、当支部まで速やかに免状交付申請の手続きをしてください。試験日から６ヶ月以上経過して申請する場合は、申請時から６ヶ月以内に撮影した証明写真１枚（縦4.5㎝×横3.5㎝）が必要になります。

※申請は、郵送または持参してください。郵送の場合は、簡易書留郵便で送付してください。

(2) **提出する書類等**

① **免状交付申請書及び試験結果通知書**

印刷された記載事項に誤りがないか確認し、日付、氏名等を記入してください。

訂正がある場合は朱書で記入してください。

結果通知書と免状交付申請書は切り離さないで申請してください。また、申請書は機械処理しますので、**折れ線以外で折り曲げない**でください。

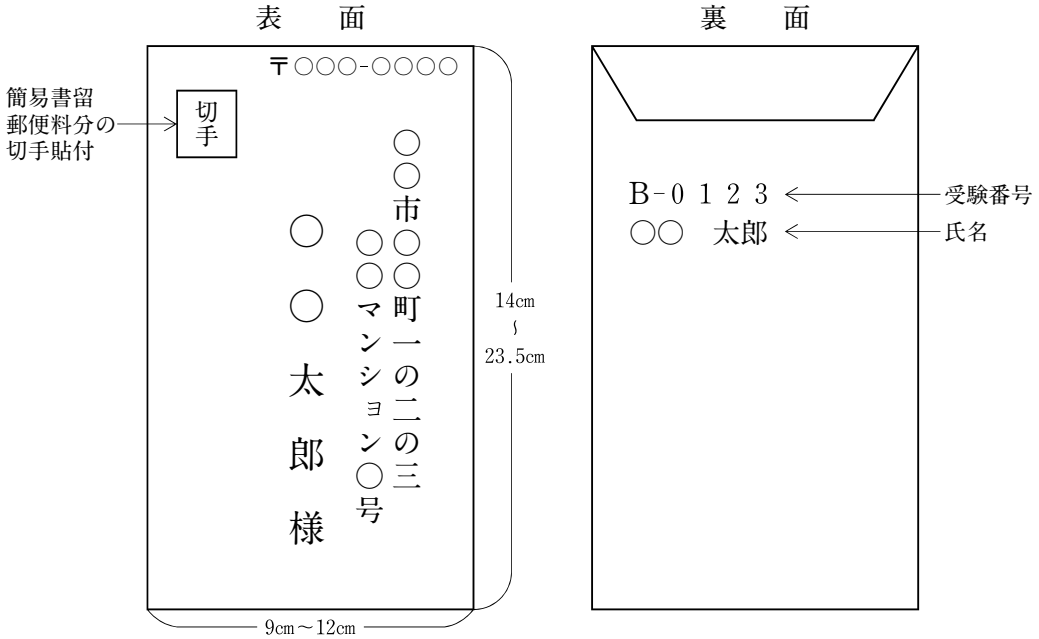
② **交付手数料**

2,900円分の和歌山県収入証紙（印紙ではありません。）を申請書の裏面に貼ってください。

※和歌山県証紙は８ページの場所で販売されています。県外の方で入手が困難な方は現金の郵送（現金書留）も可。ただし領収書の発行はできません。

③ **免状送付用封筒**（新しい免状をあなたに送るときに使いますので、必ずご用意ください。）

定形封筒（横９㎝×縦20.5㎝）に免状の送付先住所、氏名、郵便番号を記入し、簡易書留郵便料として**令和６年９月20日までの申請（郵送の場合は到着）は434円分の切手を貼付、令和６年９月21日以降は460円分の切手を貼付**し（令和６年10月１日郵便料金改定見込みのため）裏面に受験番号等を記入してください。



④ **現在、交付を受けている危険物取扱者免状**

既に他の種類の危険物取扱者免状を持っている方は、**必ず申請時に同時に提出**してください。（新しい免状に更新されます。）既得免状を**紛失された方は同時に再交付**申請をしてください。この手続きが完了しないと免状の交付ができません。

※危険物取扱者免状に旧姓を併記できるようになりました。

詳しくは、消防試験研究センター和歌山県支部（073-425-3369）までお問合せください。

◎免状交付申請書提出先（郵送及び代理の方でも可）

一般財団法人　消防試験研究センター和歌山県支部

〒640-8137 和歌山市吹上二丁目1-22　日赤会館６階

ＴＥＬ　０７３（４２５）３３６９

ＦＡＸ　０７３（４２５）１９９６

和歌山県証紙主な売りさばき場所一覧

県証紙売りさばき機関		所在地（場所）	電話番号
那賀振興局総務県民課		岩出市高塚 209	0736-63-0100
伊都振興局総務県民課		橋本市市脇 4 丁目 5-8	0736-34-1700
有田振興局総務県民課		有田郡湯浅町湯浅 2355-1	0737-63-4111
日高振興局総務県民課		御坊市湯川町財部 651	0738-22-3111
西牟婁振興局総務県民課		田辺市朝日ケ丘 23-1	0739-22-1200
東牟婁振興局総務県民課		新宮市緑ケ丘 2 丁目 4-8	0735-22-8551
和歌山県税事務所		和歌山市小松原通（県庁第 2 南別館 1 階）	073-441-3394
和歌山県職員互助会		和歌山市小松原通（県庁本館 3 階）	073-432-4111
田辺市職員共済会購買部		田辺市役所内 1 階	0739-22-5300
白浜町役場		西牟婁郡白浜町 1600	0739-43-5555
上富田町役場		西牟婁郡上富田町朝来 763	0739-47-0550
すさみ町役場		西牟婁郡すさみ町周参見 4089	0739-55-2004
和歌山県交通安全協会		交通センター内	073-473-1710
		和歌山東警察署内	073-473-3132
		和歌山西警察署内	073-422-5807
		和歌山北警察署内	073-453-1376
		橋本警察署内	0736-33-0001
		かつらぎ警察署内	0736-23-2225
		岩出警察署内	0736-63-0094
		海南警察署内	073-483-7012
		有田湯浅警察署有田分庁舎内	0737-83-4875
		有田湯浅警察署内	0737-63-0299
		御坊警察署内	0738-23-2230
		田辺警察署内	0739-25-2378
		白浜警察署内	0739-43-5243
		新宮警察署串本分庁舎内	0735-62-6522
		新宮警察署内	0735-22-4328
㈱紀陽銀行	本店営業部	和歌山市本町	073-423-9111
	県庁支店	和歌山市小松原通（県庁内）	073-431-9176
	松江支店	和歌山市松江北	073-455-3161
	神前支店	和歌山市神前	073-473-1151
	橋本支店	橋本市橋本	0736-32-1105
	高野山支店	伊都郡高野町	0736-56-2531
	岩出支店	岩出市清水	0736-62-2112
	海南駅前支店	海南市名高	073-482-3145
	加茂郷支店	海南市下津町	073-492-1341
	湯浅支店	有田郡湯浅町	0737-63-1234
	御坊支店	御坊市薗	0738-23-1211
	南部支店	日高郡みなべ町	0739-72-2510
	田辺支店	田辺市高雄	0739-22-6000
	串本支店	東牟婁郡串本町	0735-62-0666
	勝浦支店	東牟婁郡那智勝浦町	0735-52-0888
	新宮支店	新宮市大橋通り	0735-22-5161

（令和 5 年 12 月現在）

別記１

甲種危険物取扱者試験の受験資格

次表に該当する方は、甲種危険物取扱者試験の受験資格があります。

対　象　者	大学等及び資格詳細	願書資格欄記入略称	証明書類
〔1〕 大学等において化学に関する学科等を卒業した方（専門職大学の前期課程を修了した方） （別表1参照）	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校 大学・短期大学・高等専門学校・高等学校の専攻科、中等教育学校の専攻科 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等 専門職大学の前期課程を修了	大学等卒	卒業証書コピー 又は卒業証明書原本 〈化学に関する学科又は課程の名称が明記されているもの〉
〔2〕 大学等において化学に関する授業科目を15単位以上修得した方（別表2参照）	大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校（高等専門学校は専門科目に限る）、大学院、専門職大学院、専修学校 大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	15 単位	単位修得証明書原本 又は成績証明書原本 〈化学に関する授業科目を証明するもの〉
〔3〕 乙種危険物取扱者免状を有する方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、製造所等における危険物取扱いの実務経験が２年以上の方	実務２年	乙種危険物取扱者免状コピー及び乙種危険物取扱実務経験証明書（願書B面裏）
	次の４種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方 ○第１類又は第６類　○第２類又は第４類 ○第３類　○第５類	４ 種 類	乙種危険物取扱者免状コピー（※電子申請をされる方は必要ありません）
〔4〕 修士・博士の学位を有する方 （別表1参照）	修士、博士の学位を授与された方で、化学に関する事項を専攻したもの（外国の同学位も含む。）	学　位	学位記、修了証書コピー又は学位授与証明書、修了証明書原本 〈学位を取得していること、かつ、化学に関する事項を専攻したことがわかるもの〉

［備考］

１ 〔１〕の高等学校及び中等教育学校の専攻科については修業年限が２年以上のものに限ります。

２ 〔１〕、〔２〕の専修学校については、修業年限２年以上、総授業時数 1700 時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか次のいずれかの書面が必要になります。ただし、表の書類に次の内容が記載されている場合は不要です。

・ 専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し

・ 専修学校の専門課程の修業年限が２年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が 1700 時間以上であることを証明する書面（書式例１を参照してください。）

３ 〔２〕の大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校、大学院、専門職大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわりなく算定することができます。放送大学も同様に算定できます。

４ 〔２〕の「単位修得証明書」は、書式例２を参照してください。

５ 〔３〕の「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。受験願書のＢ面裏の様式を使用してください。

６ 旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業者及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細はお問い合わせください。

７ 過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことのある方は、その時の受験票又は試験結果通知書を提出することにより受験資格の証明書に代えることができます。（コピー可）

８ 「願書資格欄記入略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。

別　表　1

化学に関する学科等の例

1　名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
（ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例)人類文化学科等）

2　次の表に示す学科又は課程等

化学に関する学科又は課程等の名称							
ア	安全工学科	コ	工業材料科	セ	製造薬学科	フ	物質生物科学科
イ	医療薬学科		厚生薬学科		生体機能応用工学科		物質生物工学科
エ	衛生薬学科		高分子学科		生体物質工学科		物質生命工学科
オ	応用原子核工学科		高分子工学科		生体分子工学科		物質生命システム工学科
	応用生物科学科		高分子材料工学科		生物応用工学科		物質分子科学科
	応用生物工学科	サ	材料開発工学科		生物機能工学科		物質分子学科
	応用生命科学科		材料科学科		生物工学科		物質理工学科
	応用生命工学科		材料科学工学科		生物資源科学科		プロセス工学科
	応用微生物工学科		材料加工学科		生物資源利用学科		分子工学科
カ	環境生命科学科		材料学科		生物生産科学科		分子システム工学科
	環境物質工学科		材料機能工学科		生物分子科学科		分子生物学科
	環境マテリアル学科		材料工学科		生物薬学科		分子生命科学科
キ	基礎理学科		材料物性学科		精密素材工学科		分子素材工学科
	機能高分子学科		材料物性工学科		精密物質学科	マ	マテリアル科学科
	機能高分子工学科		材料プロセス工学科		生命理学科		マテリアル工学科
	機能材料工学科	シ	色染工芸学科		製薬学科	ム	無機材料工学科
	機能物質科学科		資源工学科		繊維工学科	ヤ	冶金学科
	機能分子工学科		資源素材工学科		繊維高分子工学科		冶金工学科
	金属加工学科		システム量子工学科	ソ	総合薬学科		薬科学科
	金属学科		食品科学科		総合薬品科学科		薬学科
	金属工学科		食品学科		素材工学科		薬剤学科
	金属材料学科		食品工学科	ト	塗装科		薬品科学科
	金属材料工学科		食品工業科学科	ハ	醗酵工学科	ユ	有機材料工学科
ケ	原子工学科		食料科学科		醗酵生産学科	ヨ	窯業工学科
	原子力科		森林資源科学科	フ	物質科学科	リ	林産学科
	原子力工学科	セ	製剤学科		物質科学工学科		林産工学科
	原子炉工学科		製糸学科		物質工学科		

別　表　2

化 学 の 授 業 科 目 例

1　名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
（ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例)進化学等）

2　次の表に示す授業科目

化学の授業科目の名称							
ア	アモルファス物性工学	エ	エレクトロセラミックス	カ	核融合工学概論	カ	環境物質工学
	安全管理学		エレクトロニクス材料工学		化工熱工学		感光物性論
	安全工学	オ	応化・プロセス工学		化工熱力学		岩石学
	安全防災工学	カ	回折結晶学		化工物理学		官能基変換論
イ	移動現象論		界面工学		化工流体工学	キ	機器分析
	移動速度論		界面制御学		化石エネルギー		機能高分子学
	医薬品安全性学		界面電子工学		火薬学		機能性高分子材料学
	医薬分子設計学		界面物性		ガラス工学		機能性材料工学
	医用高分子機能学		科学史		ガラス材料		機能性触媒工学
エ	衛生工学		核燃料工学		ガラス状態論		機能性有機材料
	衛生薬学		核燃料サイクル特論		ガラス物性		機能セラミック論
	栄養学		核融合概論		環境汚染物質分析学		凝固論及び結晶生成

キ	金相学	コ	固体平衡論	セ	生体触媒学	テ	電解製錬工学
	金属学		コロイド学		生体光反応学		電解反応
	金属加工学	サ	細胞培養学		生体分子工学		電気材料学
	金属工学		材料解析		生体分子反応		電気電子材料科学
	金属材料学		材料開発工学		製鉄製鋼耐火物		電気電子材料学
	金属材料工学		材料科学		生物機能開発学		電極反応論
	金属製錬学		材料加工学		生物機能工学		電子材料
	金属組織学		材料強度学		生物機能利用学		電子物性
	金属の相変態		材料強度物性学		生物工学		伝熱工学
	金属表面処理		材料結晶学		生物資源科学	ト	同位体地球科学
	金属物質		材料工学		生物資源利用学		毒劇物学
ケ	計算溶液特論		材料構造解析学		生物反応工学		特殊機能セラミック
	結晶回折		材料精製工学		生物物性学		毒性学
	結晶材料工学		材料精密工学		生物分子科学		毒物学
	結晶評価工学		材料組織学		生物薬学		土壌学
	原子エネルギー工学		材料組織形成論		精密材料物性		塗装学
	原子核工学		材料熱力学		精密素材工学		塗料工業科学
	原子力工学		材料反応学		精密分離工学	ニ	ニューセラミック学
	原子炉材料学		材料物性学		精密有機合成特論	ネ	燃焼学
	原子炉燃料		材料物理工学		製薬学		燃焼工学
コ	高温材料		材料プロセス設計		生理活性物質学		燃焼熱工学
	高温反応工学		錯塩基及び酸化還元		精錬漂白論		燃焼物理科学
	光学活性体合成論		産業廃水処理		石油開発工学		粘土工学
	高機能材料特論	シ	色彩工学		石油生産工学		燃料工学
	高機能材料プロセス特論		色染実験		接合学		燃料工業
	工業火薬学		システム安全工学		接着及び接着剤		燃料燃焼潤滑論
	工業材料		焼結固体反応論		接着学		燃料燃焼論
	工業排水処理		焼成材料		セメント工学		燃料分析学
	工業爆薬学		醸造学		セラミック科学	ノ	農薬学
	工業反応速度論		醸造工学		セラミック基盤材料	ハ	バイオテクノロジー
	工業微生物		醸造工業概論		セラミック工学		バイオプロセス工学
	工業分析		状態方程式特論		セラミック材料学		培養工学
	格子欠陥		触媒工学		セラミックス概論		爆発工学
	公衆衛生学		触媒設計		セラミックス材料工学		薄膜材料工学
	高重合反応		触媒反応工学		セラミックス電子材料		醗酵学
	合成鉱物		食品衛生学		セラミックプロセシング		醗酵工学
	抗生物質		食品栄養学		セルロース科学		醗酵工業論
	厚生薬学		食品科学		繊維高分子工学		醗酵生産学
	合成薬品製造学		食品工学		選鉱学		パルプ学
	構造用金属材料		食品工業微生物学		先端材料物性特論		パルプ工学
	酵素利用学		食品分析学	ソ	相平衡論		半導体工学
	鋼中非金属介在物		植物分子生物学		相変態論		半導体材料
	鉱物学		人工結晶		素材工学		半導体デバイス工学
	高分子科学		人造繊維工学	タ	耐火物概論		反応工学
	高分子学		新薬論		耐熱材料特論		反応性物質材料
	高分子工学	ス	水質学		多結晶材料工学		反応操作
	高分子合成	セ	製剤学		単位操作		反応速度論
	高分子構造		製剤工学		単位反応学	ヒ	非金属材料
	高分子固体構造論		製紙科学		単結晶材料工学		非晶質科学
	高分子コロイド科学		製紙学		蛋白質工学		微生物遺伝学
	高分子材料学		製紙工学	チ	超高温材料		微生物学
	高分子反応		製造薬学		調剤学		微生物機能学
	高分子物性論		生体機能工学	テ	鉄鋼材料学		微生物工学
	固相変態論		生体機能電気科学		鉄鋼表面処理		非鉄材料学
	固体反応		生体機能利用学		鉄冶金		非平衡論
	固体表面科学		生体工学		定性分析		表面・界面工学
	固体物性論		生体高分子学		定量分析		表面工学

ヒ	表面分析	フ	分子解析学	ム	無機材質学	ユ	有機金属
	肥料学		分子機能		無機材料工学		有機構造解析
フ	ファインケミカル工業分析		分子機能設計学		無機電子制御反応		有機材料工学
	複合材料機能学		分子構造論		無機薬品製造学		有機材料工業論
	腐食及び防食学		分子シミュレーション特論	メ	免疫薬剤学		有機材料設計
	物質移動プロセス特論		分子情報計測学	モ	木材化工学		有機材料表面科学
	物質科学		分子生物科学		木材成分学		有機材料物性
	物質工学		分子生物学		木材糖化論		有機材料レオロジー
	物質構造解析論		分子設計論		木質材料学		有機電解合成論
	物質構造論		分子素材工学		木質資源化工学		有機反応機構
	物質生科学		分子熱力学		木質資源工学		有機反応論
	物質生物工学概論		分子微生物学	ヤ	冶金学		有機分析学
	物質プロセス工学		分子薬理学		冶金工学		有機薬品製造学
	物質分析法		粉体工学		冶金反応工学		融体物有機材料電子物性
	物性科学		分離科学		薬科学	ヨ	窯業工学
	物性予測論		分離工学		薬学		窯炉工学
	物性論		分離システム工学		薬剤学	リ	粒子線結晶学
	物体学		分離装置工学		薬品学		量子分光学
	物理薬学		粉粒体工学		薬品工業概論		量子力学
	プラントエンジニアリング	ヘ	平衡論		薬品製造学		林産学
	プロセス工学		平衡・反応論		薬品製造工学		林産工学
	プロセスシステム工学	ホ	放射線計測学		薬品分析学		林産製造学
	プロセス制御工学		放射線物性計測学		薬物学		林産物製造学
	プロセスダイナミックス	マ	膜機能工学		薬用植物学		臨床薬学
	プロセス熱力学		マテリアル工学		薬理学		臨床薬理学
	分光分析	ミ	水処理工学		薬効学	レ	レオロジー
	分散系物性学		水処理実験	ユ	有機機器分析		
	分子遺伝学		水の分子工学特論		有機機能性材料		

書式例１　専修学校用受験資格証明書

○○第　　号

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書(専修学校用)

○○　年　月　日　入学　○○科○○コース
○○　年　月　日　修了

氏名　　○○　○○
年　月　日　生

学校教育法第124条に定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号 ○○　年　月　日　号	
課程の名称	○○○○専門課程
修業年限	2　年
課程の修了に必要な総授業時数	1700時間

上記のとおり証明する。

年　月　日

（専修学校の所在地）

○○専門学校　学校長　氏名　○○　○○印

《注》証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

書式例２　単位修得証明書

○○第　　号

単位修得証明書

○○　年　月　日　入学　　○○部　○○科
○○　年　月　日　修了

氏名　　○○　○○

年　月　日　生

化学に関する科目名	修得単位	化学に関する科目名	修得単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分 析 化 学	2
燃焼化学	3	反応速度論	2

上記のとおり証明する。

年　月　日

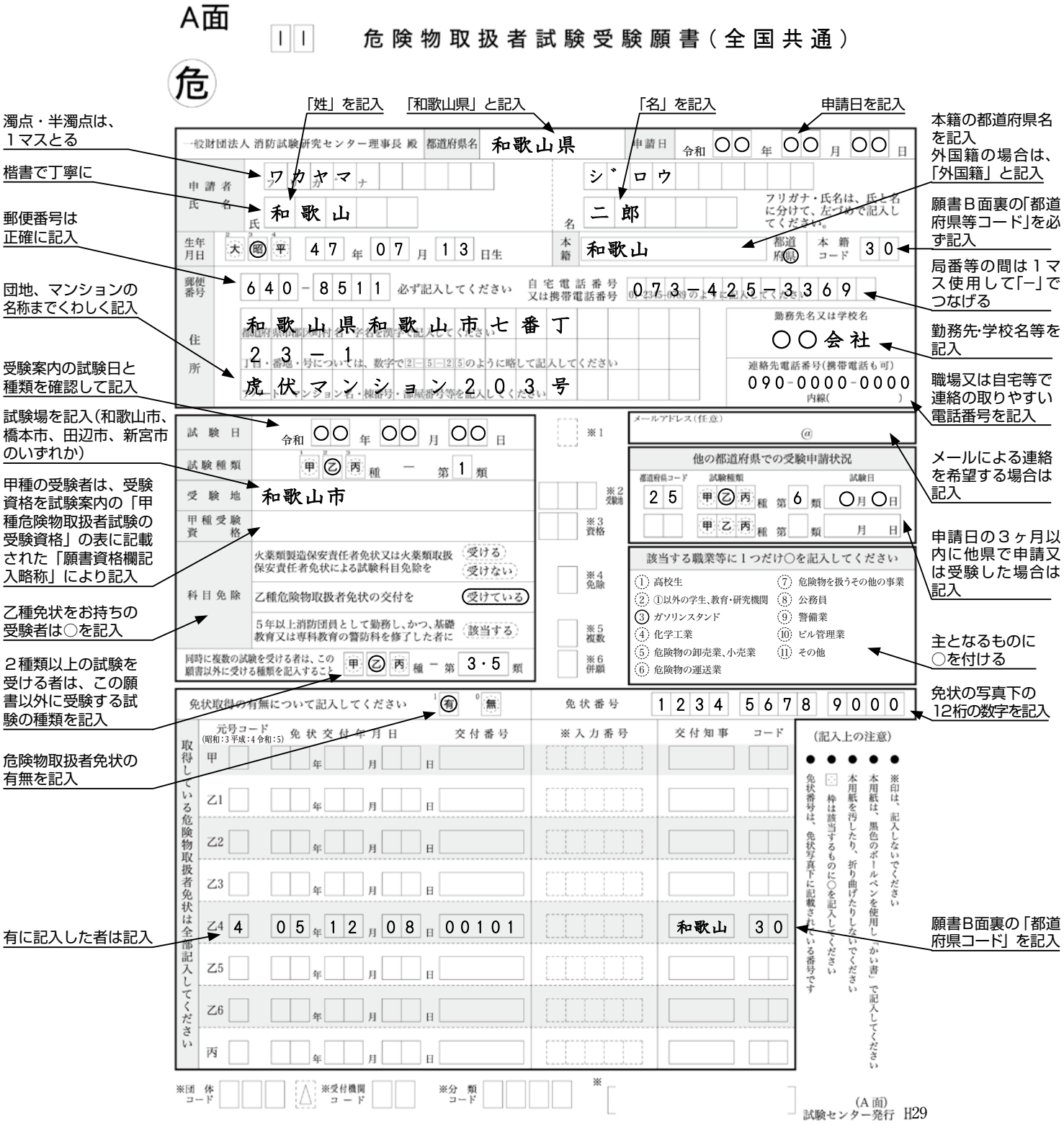
○○大学　学長　　氏名　○○　○○印

《注》証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。
《注》学長等が「化学に関する分野」と認めた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。

別 記 2

受験願書の記入例

・ 受験願書は、本人が記入してください。
・ Ａ面及びＢ面があり複写式となっています。折ったり、曲げたりしないでください。
・ 黒色のボールペンで、かい書で正しく書いてください。
・ 書き損じた場合は、横２本線を引いて、そのすぐ上に正しく書いてください。
・ 年月日を記入するすべての欄は、１桁の数字の場合、０を前に付けてください。



B面表

様式第25（第57条関係）

危険物取扱者試験受験願書

※記入欄はＡ面と複写式になっています

一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿	都道府県名	和歌山県	申請日 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日
申請者氏名	フリガナ ワカヤマ	シ゛ロウ	
	和歌山	二郎	
生年月日	大・(昭)・平 47 年 07 月 13 日生	本籍	和歌山 都道府(県)
郵便番号	640－8511	自宅電話番号又は携帯電話番号	073－425－3369
住所	和歌山県和歌山市七番丁	勤務先等連絡先	○○会社
	23－1	連絡先電話番号	090-0000-0000 内線( )
	虎伏マンション203号		

試験日	○○ 年 ○○ 月 ○○ 日	※1
試験種類	甲 (乙) 丙 種 ― 第 1 類	
受験地	和歌山市	※2 受験地
甲種受験資格		※3 資格
科目免除	火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を (受ける)	※4 免除
	乙種危険物取扱者免状の交付を (受けている)	
	5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に (該当する)	※5 複数
		※6 併願

ここに「振替払込受付証明書」をはってください。

振替払込受付証明書（お客さま用）
（郵便局・ゆうちょ銀行⇒ご依頼人）
この受付証明書に日附印を押印し、依頼人に交付してください。

払込金額	千 百 十 万 千 百 十 円 ※	
加入者名	一般財団法人 消防試験研究センター	
口座記号番号	00170-3-136220	
※ご依頼人住所		
氏名		
（電話 － － ）		
[郵便局へ]⇒日附印を押印		
受験願書に貼ってください	日附印	
	日附印なき証明書は無効（払込人⇒消防試験研究センター）	

（承認番号東証第 2015 号）

切り取らないで窓口にお出しください。金額の訂正は無効です。

赤い線で囲まれた振替払込受付証明書（お客さま用）と書いてある方を全面のり付けして貼り付けてください
（コピー不可、「振替払込請求書兼受領書」不可、機械払込書不可）

日附印が押印されているか必ず確認する

※受付欄

備考

1　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。

2　本籍の欄は、本籍地の属する都道府県名を記入すること。ただし、外国籍の者は「外国籍」と記入すること。

3　※印の欄は、記入しないこと。

※受験番号

※団体コード　※受付機関コード　※分類コード　※

（B面）

B面裏

各　種　証　明　書　等　貼　付　欄

この部分にのりづけして貼付してください。

都道府県等コード表

北海道	01	福　島	07	東　京	13	山　梨	19	滋　賀	25	鳥　取	31	香　川	37	熊　本	43
青　森	02	茨　城	08	神奈川	14	長　野	20	京　都	26	島　根	32	愛　媛	38	大　分	44
岩　手	03	栃　木	09	新　潟	15	岐　阜	21	大　阪	27	岡　山	33	高　知	39	宮　崎	45
宮　城	04	群　馬	10	富　山	16	静　岡	22	兵　庫	28	広　島	34	福　岡	40	鹿児島	46
秋　田	05	埼　玉	11	石　川	17	愛　知	23	奈　良	29	山　口	35	佐　賀	41	沖　縄	47
山　形	06	千　葉	12	福　井	18	三　重	24	和歌山	30	徳　島	36	長　崎	42	外国籍	99

乙種危険物取扱実務経験証明書 ← 「実務経験２年以上」で甲種受験する方のみ必要

氏　名	和歌山 二郎		S47年　7月13日生
取り扱った危険物	第　4　類	品　名	ガソリン・軽油
取り扱った期間	○○年　○月　○日から　　○○年　○月　○日まで (　5年　0月)		
製造所等の区分	・製造所　　・貯蔵所　　(・取扱所)		

上記のとおり相違ないことを証明します。

証明年月日　○○年○○月○○日

事業所名　○○会社　　印 ← 事業所（会社等）の印

証明者　役職　和歌山支社長

氏名　和歌山 五郎

電話　073－　000　－0000　印 ← 証明者の印（私印又は会社等の代表者印）

甲種危険物取扱者試験を受験する方は、各種証明書類（必要事項が記入されており、押印されているもの。）を貼付して下さい（消防法第１３条の３第４項第１号及び第２号）。

既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄

裏　　表

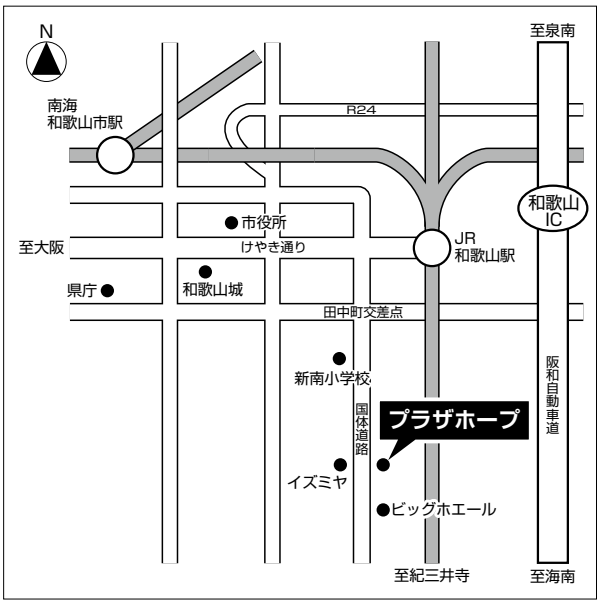
危険物取扱者免状をお持ちの方は、科目免除の有無に関係なく貼り付ける

（B面裏）

試 験 会 場 案 内

● 和歌山市会場への案内

和歌山県勤労福祉会館ープラザホープー（和歌山市北出島 1-5-47）

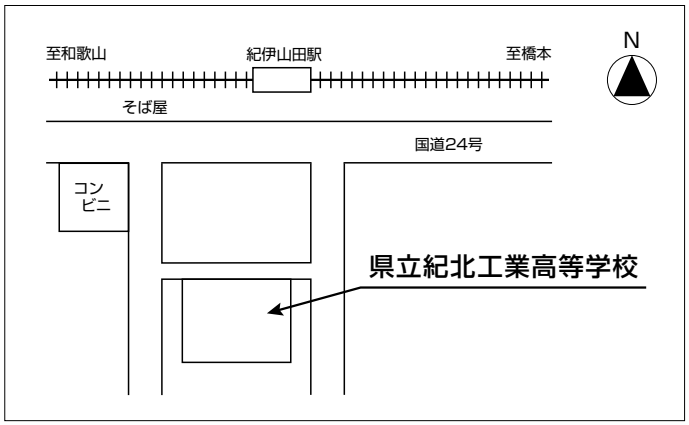


交通手段
JR 和歌山駅から
・車　約５分
・徒歩　約 15 分
・バス利用　約５分
　和歌山バス「北出島」下車

※会場へは、できる限り公共乗物を利用してください。
※和歌山県勤労福祉会館（プラザホープ）会場では隣の「ビッグホエール」有料駐車場を利用できます。
※なお、無断で近隣のスーパー等の駐車場には絶対に駐車しないでください。
（試験中でも移動をお願いすることがあります。）

● 橋本市会場への案内

県立紀北工業高等学校（橋本市神野々 809）

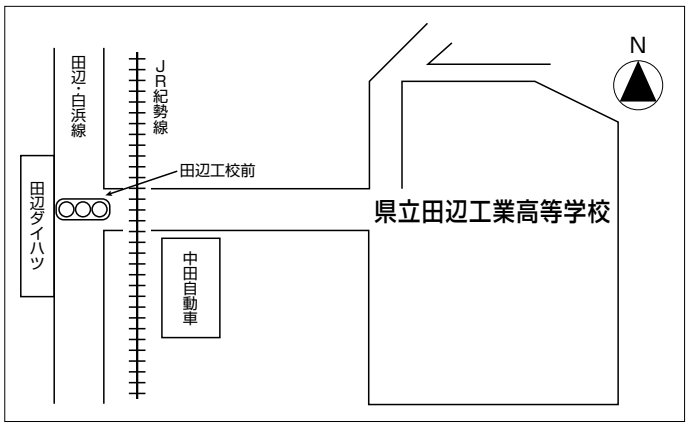


※会場へは、できる限り公共乗物を利用してください。
※JR 紀伊山田駅下車、南にむかい、徒歩約 10 分
※道路より　国道24号線を南に約200m

※試験会場に駐車場はありません。周辺での違法・迷惑駐車等は、固くお断りします。

● 田辺市会場への案内

県立田辺工業高等学校（田辺市あけぼの 51-1）



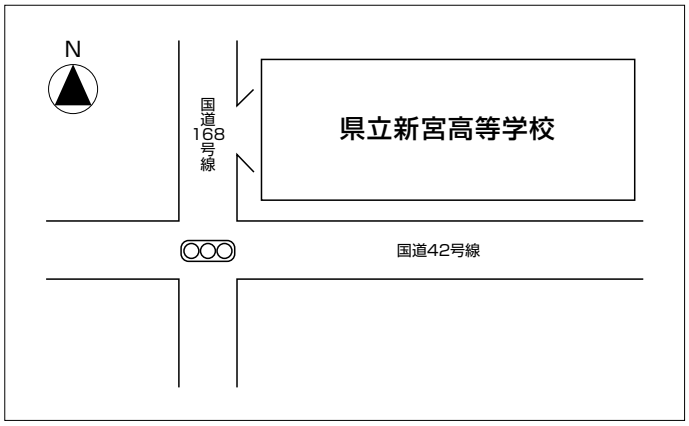
※会場へは、できる限り公共乗物を利用してください。

※JR 紀伊田辺駅から徒歩約 20 分
※JR 紀伊田辺駅からタクシー約 7 分

※試験会場に駐車場はありません。周辺での違法・迷惑駐車等は、固くお断りします。

● 新宮市会場への案内

県立新宮高等学校（新宮市神倉 3-2-39）



※会場へは、できる限り公共乗物を利用してください。

※JR 新宮駅から徒歩約 20 分
※JR 新宮駅からタクシー約 7 分

※試験会場に駐車場はありません。周辺での違法・迷惑駐車等は、固くお断りします。

※上記各市の試験会場については、収容人員等の関係で変更することもありますので受験票において指示します。受験票に記載された試験会場以外での受験はできません。

個人情報の取り扱いについて

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、収集した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

1　当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

①　個人情報の内容

氏名、 生年月日、 本籍、 住所、 電話番号、 勤務先名、 学校名、 職業、 顔写真、 メールアドレス等です。

②　利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、試験における座席への氏名表示、受験票への表示、結果通知書及び免状交付申請書、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

2　当センターは、利用目的を達成のため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。

お問い合わせ先

一般財団法人　消防試験研究センター和歌山県支部

〒640-8137　和歌山市吹上二丁目1-22　日赤会館６階

電　話　　０７３－４２５－３３６９

ＦＡＸ　　０７３－４２５－１９９６

電子申請に関するお問い合わせ先

電子申請については、当センターのホームページに詳細な利用方法や、Q&Aが掲載されていますので、必ずご確認のうえお申込みください。

電子申請室　専用電話　０５７０－０７－１０００（有料）

受付時間　９：００～１７：００（土日、祝日を除く）

ホームページ　https://www.shoubo-shiken.or.jp/

※　一般財団法人消防試験研究センターは試験実施機関であり、受験準備のための講習会や参考書等の出版は、一切行っておりません。

VEGETABLE OIL INK